

ITU-R SG7 会合(2026 年 3 月)

報告書(案)

1. 会合の名称

ITU-R Study Group 7(SG7)
(科学業務に関する研究委員会)

2. 開催日程

2026 年 3 月 13 日(金)

3. 開催場所

スイス連邦ジュネーブ ITU 本部及びリモート会議

4. 会合の位置づけ、参加者及び入力文書

科学業務を扱う第7研究委員会(SG7)は、WP7A、WP7B、WP7C 及び WP7D から上程された勧告案、報告案及び研究課題案の審議を行う場であり、議長は Markus DREIS 氏(EUMETSAT)が務めている。SG7 傘下の各 WP の議長は表 1 に示すとおり。

42 か国の主管庁、2 の ROA*や他団体及び ITU 事務局から合計 186 名が出席した。日本からは、表2に示す 12 名が出席した。

本会合においては、25 件の入力文書について審議が行われた。

*：認められた事業体(Recognized Operating Agency)

表 1 SG7 の構成と WP 議長

WP	検討案件	議長
WP7A	標準時及び標準周波数の通報	Joseph ACHKAR 氏(フランス)
WP7B	宇宙無線アプリケーション	Catherine SHAM 氏(米国)
WP7C	リモートセンシング	Bruno ESPINOSA 氏(ESA)
WP7D	電波天文	Balthasar INDERMÜHLE 氏 (オーストラリア)

表 2 日本からの出席者

氏名	所属
1 糸 将之	総務省 総合通信基盤局電波部基幹・衛星移動通信課
2 飯塚 悠太	総務省 総合通信基盤局電波部基幹・衛星移動通信課
3 横山 隆裕	一般社団法人電波産業会 研究開発本部
4 橋本 昌史	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 周波数管理室
5 市川 麻里	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 周波数管理室
6 岩名 泰典	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 周波数管理室
7 廣谷 奈々美	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 周波数管理室
8 福原 好晴	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 周波数管理室(宇宙技術開発株式会社)
9 今田 紫生良	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 周波数管理室(宇宙技術開発株式会社)
10 三留 隆宏	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 周波数管理室(スカパーJSAT 株式会社)
11 片山 麻衣子	ワシントンコア L.L.C.
12 地引 史子	ワシントンコア L.L.C.

5. 審議の内容

5.1. ラポータの任命

ラポータに Elena Dejacco 氏(米国)が任命された。

5.2. 前回 SG7 会合の報告

2025 年 3 月会合の報告(7/33Rev.1)は、異論なく承認された。

5.3. 第 32 回 RAG 会合(2025 年 4 月)の報告

第 32 回 RAG 会合(2025 年 4 月)の報告(7/35)は、既に各 WP で審議済みとして了知した。ただし、イランから、SG7 議長に対し、重要な項目(CPM についてのコレスポンスグループ、共用検討の前提等の調和など)があるので、関連する項目について各 WP への注意喚起が求められた。

5.4. BR からの情報提供

WRC-27 議題 1.18 に関し、寄与グループからの情報が不足していた点につき BR が MIFR からの情報を提供する文書(7/37)は、既に前回 WP 会合で共用検討に取り込み済みであることを確認し了知した。

5.5. 各 WP からの報告

5.5.1. Working Party 7A(7/51)

WP7A 議長から、2026 年 3 月会合について報告された。

- 主管庁、複数国共同提案、国際機関等からの計 13 件の寄与文書を審議した。標準周波数及び時刻信号に関する ITU-R 勧告 TF.460 の改訂作業において大きな進展があった。また、ITU-R 勧告 TF.374-6 の改訂についても、単位の修正や不要な参照の削除等を内容とする案が合意され、SG7 に付議された。
- ハンドブック「Selection and use of precise frequency and time systems」の改訂作業が完了し、1997 年の初版以降の技術進展を反映した内容として SG7 に提出された。UTC 配信に関する新規 ITU-R 報告の作成については、主管庁からの新たな寄与がないこと及びハンドブックとの内容重複を踏まえ、作業を中止することが合意された。
- 研究課題に関する新規又は改訂提案はなかった。

5.5.2. Working Party 7B(7/28)

WP7B 議長から、前回の SG7 会合以降 2 回の会合について、以下のとおり報告された。

- 主な成果として、SRS ハンドブックの改訂を完了し、SG7 に上程した。本改訂は第 3 版に相当し、深宇宙光通信や宇宙 VLBI 等の新技術や新たな SRS アプリケーションを反映するとともに、実際の宇宙探査ミッション事例を追加するなど内容の大幅な拡充が図られている。
- 本 SG7 会合へは新規又は改訂勧告・報告の上程はなく、その他の SA シリーズ文書については引き続き検討が進められている。
- WRC-27 議題 1.15 の責任グループとして、2025 年に承認された ITU-R 報告 SA.2553 を基に共用・両立性検討を実施し、その結果を周波数帯別の検討文書として取りまとめているほか、CPM テキスト案についても大きく進展し、2026 年 9 月会合での最終化が予定されている。また、議題 1.15 は議題 1.7、1.11、1.13 と周波数帯の重複があることから、WP5D 及び WP4C との間で調整し、各議題は独立に扱うことで合意されている。
- WP7D との合同会合を開催し、共用検討、電波天文保護基準、月遮蔽領域外からの干渉シナリオ等の具体的論点について議論を実施した。

5.5.3. Working Party 7C(7/29)

WP7C 議長から、前回 SG7 以降 2 回の会合について、以下のとおり報告された。

- 勧告改訂案 2 件、報告改訂案 1 件、新報告案 1 件、研究課題改訂案 2 件、並びに WMO-ITU ハンドブックの改訂を完了し、SG7 に提出した。特にハンドブックについては、気象分野における周波数利用を扱う重要文書として、宇宙天気に関する新章の追加など内容の拡充を図った。
- 既存勧告・報告の見直し及び廃止提案についても検討が進められており、2026 年 9 月会合に向けて更なる整理が行われる予定である。
- WRC-27 議題 1.17 については、宇宙天気センサに対する保護基準に関する新勧告及び共用検討報告の作業が進展し、MetAids における受信局の通告に関する規制上の取扱いについても検討が行われている。
- WRC-27 議題 1.18 については、WP7D との合同セッションにより resolves 1 及び 2 の分離(それぞれ Issue A 及び B)が合意され、CPM テキストの分担作成及び最終統合の方針も確認した。
- WRC-27 議題 1.19 では、多数の共用検討結果を踏まえた作業文書及び CPM テキストの検討が進展した。また、隣接周波数帯との関係では、議題 1.7 に関連して IMT と EESS(受動)の共用検討を実施し、WP5D に提供した。

5.5.4. Working Party 7D(7/30)(議長:Balthasar Indermühle 氏(オーストラリア))

WP7D 議長から、2026 年 3 月会合について報告された。

- SG7 には新 ITU-R 勧告案 1 件、新 ITU-R 報告案 1 件、並びに ITU-R 報告改訂案 1 件を提出した。
- WRC-27 議題 1.16 については、CPM テキストの構造整理を進め、特にラジオクワイエットゾーンの認知(recognition)をめぐって議論が行われた。また、複数の共用検討結果が作業文書に追加され、10 GHz 超におけるアグリゲートの影響に関する新たな報告に向けた作業文書の作成も開始した。
- WRC-27 議題 1.18(resolves 2)については、WP7C との連携のもと、CPM テキストにおける Issue の分担整理及び複数のメソッド、オプションを作成した。
- ITU-R 決議・研究課題等を扱う WG7D-3 では、意図しない電磁放射(UMER)や月遮蔽領域(SZM)に関する用語・干渉基準の整理、6 GHz 帯 IMT と電波天文業務の共存に関する報告の最終化などを行った。電波天文ハンドブック改訂については WRC-27 対応の負荷を踏まえ次研究会期に延期された。

5.6. SG7傘下の WP から上程された文書の審議

5.6.1. ITU-R 勧告

ITU-R 新勧告案1件、ITU-R 勧告改訂案3件、合計4件が審議された。

- ・ **7/38**:ITU-R 新勧告案 ITU-R RA.[GEOVLBI] - Global geodetic very long baseline interferometry networks(WP7D)
 - イランから、recommends における「Administration take into account」といった強い表現を避けるべきとの意見があり、「Administrations consider taking into account」及び「Administrations consider registering … if deemed appropriate」等の修正を加えることで合意した。
 - WP7D での審議段階で二段階方式を求める意見があったことをふまえ、採択、承認の二段階手続きに付すことで合意した。
- ・ **7/39**:ITU-R 勧告 RS.515-5 改訂案 - Frequency bands and bandwidths used for satellite passive remote sensing(WP7C)
 - 勧告フォーマットをBRがオフラインで更新することを確認し、PSAA(採択・承認同時手続き)に付すことで合意した。
- ・ **7/42**:ITU-R 勧告 RS.577-7 改訂案 - Frequency bands and required bandwidths used for spaceborne active sensors operating in the Earth exploration-satellite (active) and space research (active) services(WP7C)
 - エディトリアルな修正を加えた上で PSAA に付すことで合意した。
- ・ **7/47**:ITU-R 勧告 TF.374-6 改訂案 - Precise frequency and time signal transmissions(WP7A)
 - WP7A で承認された直後であること、また、センシティブな内容を含むことなどから、採択、承認の二段階手続きに付すことで合意した。
 - イランから、considering に無線通信規則上の分配済み周波数が記載されている点が不適切であり、recalling や recognizing に移すべきとの意見があったが、BR からこの点に関しては明確な定義がなく慣行に依拠しているとの説明があり、RAG において助言を求めることとされた。

5.6.2.ITU-R 研究課題

ITU-R 研究課題改訂案 2 件が審議された。

- ・ **7/40:**ITU-R 研究課題 231/7改訂案 - Earth exploration-satellite service (active) and space research service (active) operating above100 GHz(WP7C)
 - イランから、研究対象を～450 GHz と改訂する提案について、基本的な周波数分配は275 GHz までとなっており、根拠なく超えることに反対との意見があった。SG7議長及び WP7C 議長から、WRC 将来議題で275 GHz 超が検討されていること(WRC-31 暫定議題 2.1)、無線通信規則脚注(No. 5.564、5.565)などでも275 GHz 超の特定が存在すること、EESS(能動)、SRS 向けの検討も行われていることから対象周波数帯を引き上げるのが適当と考えたもの、改訂前の研究課題は 100 GHz 超、と上限がなかったことを考えれば、むしろ一定の制限を設定しているものであるとの説明があった。米国からも、WRC-27 議題 1.8 でも 275 GHz 超は検討されており、450 GHz までという範囲を設けることは適切であるとの意見があった。イランが妥協したため、変更なく PSAA¹に付すことで合意した。
- ・ **7/48:**ITU-R 研究課題 234/7 改訂案 - Frequency sharing between active sensor systems in the Earth exploration-satellite service and systems operating in other services in the 1 215-1 300 MHz band (WP7C)
 - 特段の議論なく、PSAA¹に付すことで合意した。

5.6.3.ITU-R 報告

ITU-R 新報告案 2 件、ITU-R 報告改訂案2件、合計 4 件が審議された。

- ・ **7/41:**ITU-R 報告 RS.2313-0 改訂案 - Sharing analyses of wideband Earth exploration-satellite service (active) transmissions with stations in the radiodetermination service operating in the frequency bands 8 700-9 300 MHz and 9 900-10 500 MHz(WP7C)

¹ ITU-R 決議 1-9 において、ITU-R 研究課題についての PSAA は規定されていない。同決議によれば、ITU-R 研究課題の場合、SG 会合開始時に研究課題案が電子的に提供されていれば、当該 SG 会合において採択が可能である。

- エディトリアルな修正を加えた上で承認された。
- ・ **7/49:**新 ITU-R 報告案 RS.[AGG_EESS_SAR-RNSS] - Examples of evaluating and resolving interference into receiving earth stations in the radionavigation-satellite service (space-to-Earth) from multiple spaceborne synthetic aperture radar sensors in the Earth exploration-satellite (active) service in the 1 215-1 300 MHz band (WP7C)
 - 特段の議論なく承認された。
- ・ **7/53:**新 ITU-R 報告案 RA.[IMT-6GHZ] - Methods to address the determination of the coordination area around existing RAS stations from IMT stations in the frequency band 6 650-6 675.2 MHz (WP7D)
 - イランから、coordination area/zone/distance という規制・技術面で異なる 3 つの項目が混同されている(coordination distance は 2 つの局間の距離、coordination zone は調整が必要な zone、coordination area は無線通信規則第 9.17/9.18 号、Appendix 7 に基づく概念)との指摘があり、これらの用語についてさらなる検討が必要であると注記することを前提に承認された。
- ・ **7/54:**ITU-R 報告 RA.2126 改訂案 - Techniques for mitigation of radio frequency interference in radio astronomy(WP7D)
 - エディトリアルな修正を加えた上で承認された。

5.6.4.ITU-R ハンドブック

ITU-R ハンドブック改訂案 3 件が審議され、全て特段の議論なく承認された。

- ・ **7/50:**Draft revision of the Handbook - Selection and Use of Precise Frequency and Time Systems(WP7A)
- ・ **7/52:**Draft revision of the Handbook on Space Research Communication(WP7B)
- ・ **7/43:**Revision of ITU/WMO Handbook - Use of Radio Spectrum for

Meteorology: Weather, Water and Climate Monitoring and Prediction(WP7C)

- SG7 議長から、次回 9 月の SG7 会合にて WMO との合同調印式を予定していること、さらに 9 月の SG7 後に ITU/WMO グローバルセミナーの開催を予定していることが連絡された。

5.7. 他の ITU 部門、研究委員会・WP 等からのリエゾン文書

SG7 に提出された下表の他 WP・他部門からのリエゾン文書については、特にアクションの必要性は認められず、情報として了知された。

文書番号 7/...	提出元	概要
34	WP4A	衛星通信技術ハンドブックについての作業進捗。
36	TSAG	持続可能なデジタルトランスフォーメーションに関する情報提供依頼。SG7 が具体的に関与する領域は特定されなかった。
46	ITU-T SG5	ITU-T SG5 において無線周波数利用の環境影響評価に関する勧告の検討を開始したことを通知。
45	SG5	上記 ITU-T SG5 からのリエゾン文書(7/46)に対し、当該主題は ITU-R の所掌であると連絡。

5.8. 今後の会合予定

今後の SG7 関連会合の予定が以下のとおり示された。イランから、各地域の準備会合と重複しないよう調整することが要請された。

2026 年:

- WP7B、7C、7D:2026 年 9 月 14～24 日 ジュネーブ
- SG7 :2026 年 9 月 25 日 ジュネーブ
- WMO-ITU グローバルセミナー:2026 年 9 月 28～30 日 ジュネーブ

2027 年:

- WP7A、7B、7C、7D、SG7 :[2027 年 3 月] ジュネーブ
- CPM27-2:2027 年 4 月 5～15 日 ジュネーブ
- WP7A、7B、7C、7D、SG7 :[2027 年 8/9 月] ジュネーブ

表 3 入力文書一覧

文書番号 7/**	提出元	題目	結果
34	WP 4A	Reply liaison statement to Working Parties 4B, 4C and 5A (copy for information to Study Groups 1, 5 and 7)	了知
35	Director, BR	Additional information on the summary of conclusions of the 32nd meeting of the Radiocommunication Advisory Group for the attention of all ITU-R Study Groups and Working Parties	了知
36	TSAG	Liaison statement on the activities and studies on sustainable digital transformation	了知
37	Director, BR	Performance parameters for studies under WRC-27 agenda item 1.18, resolves 1) to Study Group 7, Working Parties 7C, 4A and 4C	了知
38 (Rev.1)	WP 7D	Draft new Recommendation ITU-R RA.[GEOVLBI] - Global geodetic very long baseline interferometry networks	採択、承認二段 階手続き (修正あり)
39 (Rev.1)	WP 7C	Draft revision of Recommendation ITU-R RS.515-5 - Frequency bands and bandwidths used for satellite passive remote sensing	PSAA (修正あり)
40 (Rev.1)	WP 7C	Draft revision to Question ITU-R 231/7 - Earth exploration-satellite service (active) and space research service (active) operating above 100 GHz	採択※
41	WP 7C	Draft revision of report ITU-R RS.2313-0 - Sharing analyses of wideband Earth exploration-satellite service (active) transmissions with stations in the radiodetermination service operating in the frequency bands 8 700-9 300 MHz and 9 900-10 500 MHz	承認 (修正あり)
42 (Rev.1)	WP 7C	Draft revision of Recommendation ITU-R RS.577-7 - Frequency bands and required bandwidths used for spaceborne active sensors operating in the Earth exploration-satellite (active) and space research (active) services	PSAA (修正あり)
43 (Rev.1)	WP 7C	Revision of ITU/WMO Handbook - Use of Radio Spectrum for Meteorology: Weather, Water and Climate Monitoring and Prediction	承認
44	ITU-T SG5	Liaison statement on proposed draft new ITU-T Recommendation on guidance for assessing the environmental impact of radio spectrum utilization	了知
45	ITU-T JCA-MV	Liaison statement on invitation to nominate representatives to ITU-T JCA-MV and provide input to the Metaverse Standardization Roadmap	了知
46	SG 5	Reply liaison statement to ITU-T Study Group 5 (copy to ITU-R Working Party 1B, Study Groups 3, 4, 6, 7) - Proposed draft new ITU-T Recommendation on Guidance for assessing the environmental impact of radio spectrum utilization	了知
47 (Rev.1)	WP 7A	Draft revision of Recommendation ITU-R TF.374-6 - Precise frequency and time signal transmissions	採択、承認二段 階手続き (修正あり)
48	WP 7C	Draft revision to Question ITU-R 234/7 - Frequency sharing between active sensor systems in the Earth exploration-satellite service and systems operating in other services in the 1 215-1 300 MHz band	採択※
49	WP 7C	Draft new Report ITU-R RS.[AGG_EESS_SAR-RNSS] - Examples of evaluating and resolving interference into receiving earth stations in the radionavigation-satellite service (space-to-Earth) from multiple spaceborne	承認

文書番号 7/**	提出元	題目	結果
		synthetic aperture radar sensors in the Earth exploration-satellite (active) service in the 1 215-1 300 MHz band	
50	WP 7A	Draft revision of the Handbook - Selection and Use of Precise Frequency and Time Systems	承認
51	Chair, WP 7A	Executive Report on March 2026 meeting of Working Party 7A (March 2026)	了知
52	WP 7B	Draft revision of the Handbook on Space Research Communication	承認
53	WP 7D	Draft new Report ITU-R RA.[IMT-6GHZ] - Methods to address the determination of the coordination area around existing RAS stations from IMT stations in the frequency band 6 650-6 675.2 MHz	承認 (修正あり)
54	WP 7D	Draft revision of Report ITU-R RA.2126 - Techniques for mitigation of radio frequency interference in radio astronomy	承認 (修正あり)
55	Chair, WP 7B	Executive Report on the March 2026 meeting of Working Party 7B	了知
56	Chair, WP 7C	Executive Report on the March 2026 meeting of Working Party 7C	了知
57 (Rev.1)	Chair, WP 7D	Executive Report on the March 2026 meeting of Working Party 7D	了知
58	BR, Study Groups Department	List of documents issued (Documents 7/33(Rev.1) - 7/58)	—

※5.6.2 参照